



# 合志市総合健康センター 「ユープレス弁天」



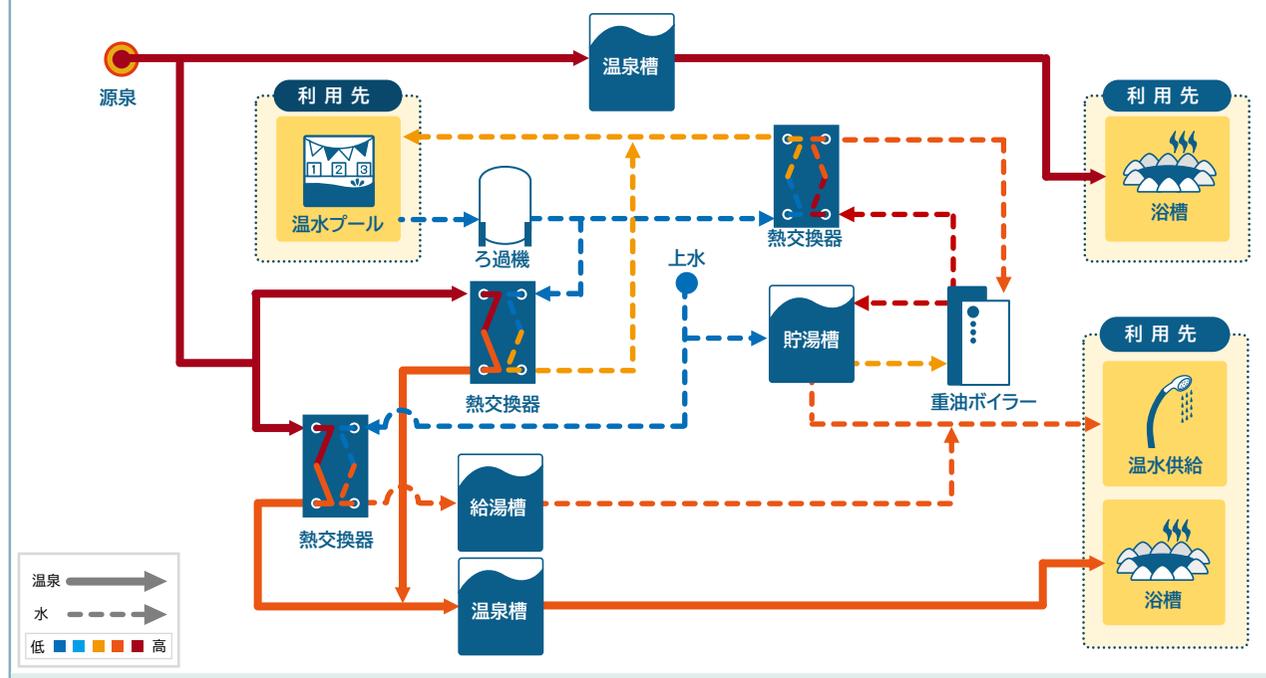
## 概要

64℃の源泉を熱交換し、シャワーの給湯及びプールの昇温に利用している。

かつては浴用利用のために高温源泉に加水をする一方で、シャワーの給湯やプールの昇温に大量のA重油を使用していた。ボイラーの故障をきっかけにエネルギーコストの見直しの必要があることが分かり、温泉熱利用の検討を始めた。近隣事例の情報収集や導入先への視察等積極的な調査を行うことで、温泉熱についての知識を拡充するとともに、不安の払拭にもつながり事業実現となった。



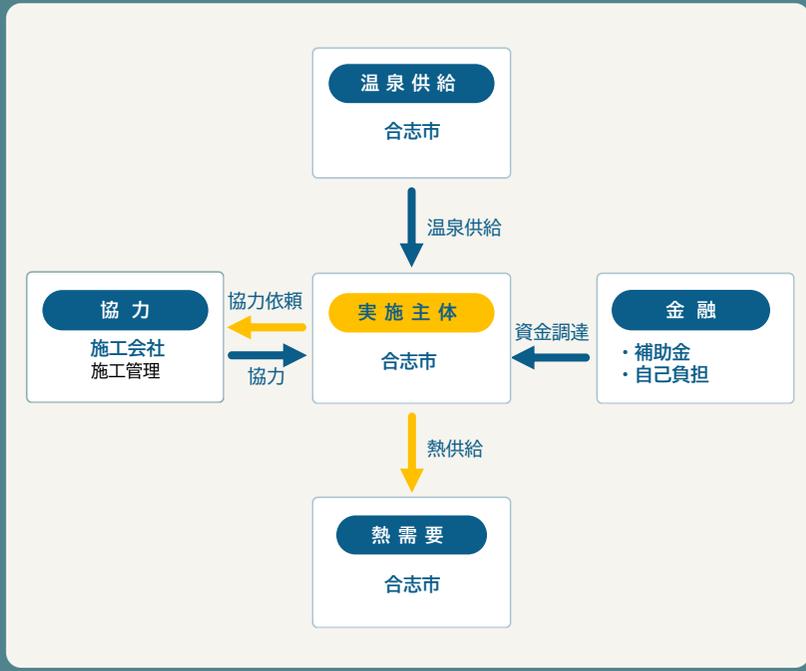
泉質	ナトリウム-塩化物・硫酸塩温泉	CO <sub>2</sub> 排出量削減効果	エネルギーコスト削減効果
熱利用温度	64℃	362.2 t-CO <sub>2</sub> /年相当 削減 ※1	1,156 万円/年相当 削減 ※1
利用温泉	既存温泉		
総事業費	7,960万円		



主な温泉熱利用方法

※ 本事例は「令和4年度温泉熱等の有効活用等普及促進調査等委託業務」にて調査・整理した事例であり、掲載情報は調査当時のものであることから、詳細な状況は変更されている可能性があります。  
※ 1: CO<sub>2</sub> 排出量削減効果とエネルギーコスト削減効果は補助事業実績報告書に基づいた数値です。

## 実施体制



## 事業検討の流れ

